



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月6日

東

上場会社名 住友ベークライト株式会社 上場取引所  
 コード番号 4203 URL <https://www.sumibe.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 一彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 植田 毅 (TEL) 03 (5462) 4165  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	216,649	10.6	20,308	△4.2	20,013	△4.6	21,253	△2.4	16,155	0.1
2022年3月期第3四半期	195,928	31.5	21,207	84.0	20,984	13.1	21,786	50.1	16,137	36.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	343.32	—
2022年3月期第3四半期	342.93	—

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	370,701	249,346	247,069	66.6
2022年3月期	370,836	232,136	229,784	62.0

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2023年3月期	—	60.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	286,000	8.7	25,200	△4.9	20,000	9.3	425.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	49,590,478株	2022年3月期	49,590,478株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,535,593株	2022年3月期	2,534,727株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	47,055,274株	2022年3月期3Q	47,056,921株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な会計方針)	11
(セグメント情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)における経済環境は、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰、中国における新型コロナウイルスの新規感染者増加による景況悪化などがみられました。また為替相場は昨年秋に記録的な円安・ドル高となったのち、一転、年末にかけて円高が進みました。

このような情勢のもと、当社グループの売上収益は、円安為替評価による海外売上上の増加に加え、原材料価格高騰に対応して販売価格改定などに努めた結果、前年同期と比べ10.6%増(以下の比率はこれに同じ)の2,166億49百万円となりました。損益につきましては、半導体関連材料および高機能プラスチック製品の市況悪化に加え、エネルギーコストの高騰などにより、事業利益は4.2%減の203億8百万円、営業利益は4.6%減の200億13百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は0.1%増の161億55百万円となりました。

(セグメント別販売状況)

## ① 半導体関連材料

[売上収益 61,534百万円(前年同期比 9.0%増)、事業利益 12,688百万円(同 0.3%減)]

主力の半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、前年度好調だったパソコンやスマートフォンなど民生向けの需要が冷え込み、在庫調整局面が続いていることから販売数量は減少しました。売上収益については原料価格上昇に伴う価格改定と円安影響により増加しました。

感光性ウェハーコート用液状樹脂は、主要用途であるメモリー需要が堅調に推移しており、販売数量、売上収益ともに増加しました。

半導体用ダイボンディングペーストは、民生用途の需要減少、顧客での在庫調整が長期化し、売上収益は前年同期を下回りました。

半導体パッケージ基板材料「LαZ®」シリーズは、中国市場のスマートフォン需要が低迷したことで売上収益は減少しました。

## ② 高機能プラスチック

[売上収益 77,040百万円(前年同期比 13.2%増)、事業利益 2,889百万円(同 38.7%減)]

工業用フェノール樹脂およびフェノール樹脂成形材料は、中国での新型コロナウイルス感染者数増加による生産・消費活動の停滞影響で販売数量が大幅に減少しました。原料価格上昇に対応して製品価格の改定に努めたこと、円安が進行したことにより売上収益は増加しましたが、販売数量の減少分をカバーできず事業利益は前年同期を大きく下回りました。

銅張積層板は、車載向けの販売数量は減少しましたが、エアコン用、LED照明用基板の販売好調と円安効果により売上収益は増加しました。

航空機内装部品は、航空旅客輸送量の回復を背景に販売数量、売上収益ともに増加しました。また、事業構造の改善に取り組んだ結果、収益力も大幅に向上しました。

## ③ クオリティオブライフ関連製品

[売上収益 77,548百万円(前年同期比 9.3%増)、事業利益 7,455百万円(同 18.2%増)]

医療機器製品は、国内市場向けは病院向け、企業向けとも手術症例数の減少により販売実績は前年同期並みでしたが、北米向けの採血キット、アジア向けの血液バッグなど輸出版売が好調なことから、売上収益は大幅に増加しました。バイオ関連製品は、輸出版売が好調で売上収益は前年同期を上回りました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、産業用途が中国市場の景気低迷を受けて販売数量が減少しましたが、医薬品包装用途、食品包装用途は好調を継続し売上収益は前年同期比で増加しました。

ポリカーボネート樹脂板および塩化ビニル樹脂板は、主要な用途である店舗用サイン・ディスプレイ、建材用途およびサングラス用の偏光板用途で需要回復が遅れており、売上収益は前年同期比で横ばいでした。

防水関連製品は、新築住宅向け屋根防水工事を中心に需要が回復基調で売上収益は増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (2.1) 資産、負債および資本の状況

#### ①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億35百万円減少し、3,707億1百万円となりました。

主な増減は、現金及び現金同等物の減少と、棚卸資産および営業債権の増加であります。

#### ②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ173億46百万円減少し、1,213億55百万円となりました。

主な増減は、コマーシャル・ペーパーの償還による減少であります。

#### ③資本の部

資本合計は、前連結会計年度末に比べ172億11百万円増加し、2,493億46百万円となりました。

主な増減は、四半期利益の計上および為替変動影響による増加と、配当金の支払による減少であります。

### (2.2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金および現金同等物（以下、資金）は、前連結会計年度末に比べ186億19百万円減少し、905億98百万円となりました。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は118億50百万円となりました。

これは主に、税引前四半期利益および減価償却費の計上による収入と、棚卸資産の増加による支出の結果であります。前年同期と比べると49億3百万円の収入の減少となりました。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は127億15百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出の結果であります。前年同期と比べると54億46百万円の支出の増加となりました。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は222億85百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーの償還による支出と、配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると38億3百万円の支出の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しにつきましては、直近の業績動向を踏まえ、2022年5月16日に公表した2023年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しております。詳細につきましては、本日（2023年2月6日）公表しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2023年3月期通期連結業績予想

	売上収益 (百万円)	事業利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	290,000	28,500	21,000	446.28
今回修正予想 (B)	286,000	25,200	20,000	425.03
増減額 (B-A)	△ 4,000	△ 3,300	△ 1,000	—
増減率 (%)	△ 1.4	△ 11.6	△ 4.8	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期通期)	263,114	26,489	18,299	388.86

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	109,217	90,598
営業債権及びその他の債権	59,414	65,162
その他の金融資産	47	1,619
棚卸資産	50,276	57,601
その他の流動資産	4,337	4,194
流動資産合計	223,291	219,175
非流動資産		
有形固定資産	101,456	105,529
使用権資産	6,963	7,674
のれん	1,260	1,304
その他の無形資産	2,488	2,383
その他の金融資産	27,539	26,804
退職給付に係る資産	5,500	5,372
繰延税金資産	2,211	2,181
その他の非流動資産	128	280
非流動資産合計	147,546	151,526
資産合計	370,836	370,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	35,155	22,169
営業債務及びその他の債務	56,316	54,236
その他の金融負債	1,422	1,425
未払法人所得税等	3,241	2,790
引当金	200	187
その他の流動負債	776	708
流動負債合計	97,110	81,515
非流動負債		
借入金	23,467	21,381
その他の金融負債	3,578	4,114
退職給付に係る負債	4,148	4,297
引当金	1,235	1,270
繰延税金負債	8,592	8,252
その他の非流動負債	571	527
非流動負債合計	41,591	39,840
負債合計	138,701	121,355
資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,137	35,137
自己株式	△6,794	△6,798
その他の資本の構成要素	24,915	31,421
利益剰余金	139,383	150,166
親会社の所有者に帰属する持分合計	229,784	247,069
非支配持分	2,352	2,277
資本合計	232,136	249,346
負債及び資本合計	370,836	370,701

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	195,928	216,649
売上原価	△134,699	△154,120
売上総利益	61,228	62,529
販売費及び一般管理費	△40,022	△42,221
事業利益	21,207	20,308
その他の収益	114	211
その他の費用	△336	△506
営業利益	20,984	20,013
金融収益	1,034	1,524
金融費用	△232	△284
税引前四半期利益	21,786	21,253
法人所得税費用	△5,406	△4,821
四半期利益	16,381	16,432
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,137	16,155
非支配持分	243	277
四半期利益	16,381	16,432
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	342.93	343.32
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	16,381	16,432
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動額	△1,062	△472
確定給付制度の再測定	34	△1
純損益に振替えられることのない項目合計	△1,028	△473
純損益に振替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	53	14
在外営業活動体の換算差額	5,516	7,286
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	5,569	7,300
税引後その他の包括利益	4,541	6,827
四半期包括利益	20,921	23,260
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,544	22,936
非支配持分	377	324
四半期包括利益	20,921	23,260

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素				非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定す る金融資 産の変動 額	確定給付 制度の再 測定	キャッシ ュ・ フロー・ ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	合計		
当期首残高	37,143	35,137	△6,785	124,052	10,431	—	△111	338	10,658	1,936	202,141
四半期利益	—	—	—	16,137	—	—	—	—	—	243	16,381
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,062	25	53	5,391	4,407	134	4,541
四半期包括利益	—	—	—	16,137	△1,062	25	53	5,391	4,407	377	20,921
剰余金の配当	—	—	—	△4,470	—	—	—	—	—	△159	△4,629
自己株式の取得	—	—	△6	—	—	—	—	—	—	—	△6
その他の資本の 構成要素から利益 剰余金への振替	—	—	—	△145	171	△25	—	—	145	—	—
所有者との取引合計	—	—	△6	△4,616	171	△25	—	—	145	△159	△4,636
四半期末残高	37,143	35,137	△6,792	135,573	9,540	—	△58	5,729	15,210	2,155	218,427

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

変動項目	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素				非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定す る金融資 産の変動 額	確定給付 制度の再 測定	キャッシ ュ・ フロー・ ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	合計		
当期首残高	37,143	35,137	△6,794	139,383	9,852	—	△52	15,114	24,915	2,352	232,136
四半期利益	—	—	—	16,155	—	—	—	—	—	277	16,432
その他の包括利益	—	—	—	—	△472	△0	14	7,239	6,781	47	6,827
四半期包括利益	—	—	—	16,155	△472	△0	14	7,239	6,781	324	23,260
剰余金の配当	—	—	—	△5,647	—	—	—	—	—	△399	△6,045
自己株式の取得	—	—	△4	—	—	—	—	—	—	—	△4
その他の資本の 構成要素から利益 剰余金への振替	—	—	—	274	△275	0	—	—	△274	—	—
所有者との取引合計	—	—	△4	△5,372	△275	0	—	—	△274	△399	△6,049
四半期末残高	37,143	35,137	△6,798	150,166	9,105	—	△37	22,353	31,421	2,277	249,346

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	21,786	21,253
減価償却費及び償却費	10,009	10,356
受取利息及び受取配当金	△840	△1,524
支払利息	232	248
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△7,329	△4,749
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,839	△3,512
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,361	△6,009
その他	△367	△1,060
小計	21,969	15,004
利息の受取額	255	756
配当金の受取額	565	904
利息の支払額	△221	△237
法人所得税の支払額	△5,815	△4,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,753	11,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,435	△11,453
有形固定資産の売却による収入	40	30
投資有価証券の取得による支出	△14	△15
投資有価証券の売却による収入	2,619	442
定期預金の預入による支出	△0	△1,835
定期預金の払戻による収入	—	431
その他	△480	△315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,269	△12,715
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	77	△52
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	9,000	△13,000
長期借入金の返済による支出	△22,187	△2,506
リース負債の返済による支出	△736	△677
配当金の支払額	△4,470	△5,647
非支配持分への配当金の支払額	△159	△399
その他	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,482	△22,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,991	4,531
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,007	△18,619
現金及び現金同等物の期首残高	103,175	109,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	97,168	90,598

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業を区分し、生産・販売・研究を一体的に運営する事業部門制を採用しております。各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、主に事業部門を基礎とした製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、これらの事業セグメントを基礎に製品の市場における主要用途および事業の類似性を勘案し、「半導体関連材料」、「高機能プラスチック」、および「クオリティオブライフ関連製品」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主な製品およびサービスの内容は次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品・医薬品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ関連製品

## (2) セグメント収益および業績

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	56,453	68,080	70,962	433	195,928	—	195,928
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	111	0	—	112	△112	—
計	56,453	68,191	70,963	433	196,039	△112	195,928
セグメント損益 (事業利益)(注) 1	12,731	4,715	6,306	35	23,787	△2,581	21,207

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△2,581百万円には、セグメント間取引消去△24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,557百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	要約四半期 連結損益計 算書計上額
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリティ オブライフ 関連製品				
売上収益							
外部顧客への売上 収益	61,534	77,040	77,548	527	216,649	—	216,649
セグメント間の内部 売上収益または振替高	—	136	0	—	137	△137	—
計	61,534	77,176	77,548	527	216,785	△137	216,649
セグメント損益 (事業利益)(注) 1	12,688	2,889	7,455	134	23,167	△2,859	20,308

(注) 1 セグメント損益(事業利益)は、「売上収益」から「売上原価」、「販売費及び一般管理費」を控除して算出しております。

2 「その他」の区分は、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

3 セグメント損益(事業利益)の調整額△2,859百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,859百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
セグメント損益	21,207	20,308
その他の収益	114	211
その他の費用	△336	△506
営業利益	20,984	20,013
金融収益	1,034	1,524
金融費用	△232	△284
税引前四半期利益	21,786	21,253